



# 令和5年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年11月14日

上場会社名 株式会社 日本抵抗器製作所  
コード番号 6977 URL <https://www.jrm.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 準  
問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長 (氏名) 木矢村 隆

TEL 0763-62-8125

四半期報告書提出予定日 令和5年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和5年12月期第3四半期の連結業績(令和5年1月1日～令和5年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年12月期第3四半期	5,331	2.9	96	54.5	148	32.4	87	90.3
4年12月期第3四半期	5,179	14.8	211	169.1	219	216.2	45	166.4

(注) 包括利益 5年12月期第3四半期 223百万円 (17.6%) 4年12月期第3四半期 189百万円 (112.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年12月期第3四半期	70.51	
4年12月期第3四半期	37.05	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年12月期第3四半期	8,118	2,188	21.9
4年12月期	7,590	2,021	21.7

(参考) 自己資本 5年12月期第3四半期 1,779百万円 4年12月期 1,645百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年12月期		15.00		30.00	45.00
5年12月期		15.00			
5年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和5年12月期の連結業績予想(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	2.7	180	42.1	230	19.9	100	24.8	80.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年12月期3Q	1,240,000 株	4年12月期	1,240,000 株
期末自己株式数	5年12月期3Q	2,795 株	4年12月期	2,626 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年12月期3Q	1,237,301 株	4年12月期3Q	1,237,395 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております予想値は現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、資源エネルギー価格の高止まり、金融引き締めに伴う景気の減速見通し、不安定な為替相場など依然として先行き不透明な状況が続いております。当社グループの業界を取り巻く環境は、半導体部品の供給制約の緩和、国内製造業による設備投資が中国から東南アジアや北米にシフトするなど、脱中国に向けた動きが見られます。

その一方で、脱炭素社会への取り組みとして、欧州・中国・東南アジア市場での自動車関連向けの電子部品、産業機器市場向けの電子部品の受注拡大に努めるとともに、高い品質・高い信頼性を必要とされる市場への販路拡大を進めております。それと同時に、工程の自動化・省力化によるコスト削減、新製品の開発に努め、収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は5,331百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

地域別の内訳を示しますと、日本国内では4,250百万円、アジアでは560百万円、欧州では502百万円、その他地域では17百万円となりました。主要顧客向けである半導体装置用電子機器や電流センサーの売上は減少しましたが、エアコン用や車載用、産業用ロボット向け抵抗器をはじめ、幅広い品種で売上が増加し、主要顧客向け以外の売上が大きく増加したため、全体として売上高は前年同四半期比で増加しました。

利益面では、半導体装置用電子機器の売上高が減少したこと、原材料価格や人件費高騰によるコスト増加が影響し、粗利益率は低下しました。販売費及び一般管理費については、海外での設備投資に伴うコスト増加、賃上げや人員増加による人件費の増加、積極的な販促活動に伴う広告宣伝費の増加、また新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、出張旅費が増加しました。この結果、営業利益は96百万円（前年同四半期比54.5%減）となりました。

経常利益については、円安の進行に伴い為替差益が増加したものの、148百万円（同32.4%減）となり、税金等調整前四半期純利益については、142百万円（同5.6%減）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間は、連結子会社の四半期純利益が前年同四半期比減少したため、非支配株主に帰属する四半期純利益が大きく減少しました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円（同90.3%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは電子部品の製造・販売及び付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して528百万円増加し、8,118百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の283百万円の増加、商品及び製品の137百万円の増加、電子記録債権の88百万円の増加であります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して360百万円増加し、5,930百万円となりました。変動の主なものは、支払手形及び買掛金の265百万円の減少、電子記録債務の182百万円の減少、短期借入金の394百万円の増加、長期借入金の468百万円の増加であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して167百万円増加し、2,188百万円となりました。変動の主なものは、その他有価証券評価差額金の37百万円の増加、為替換算調整勘定の64百万円の増加、非支配株主持分の33百万円の増加であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期連結業績予想につきましては、売上高はほぼ予想を達成する見込みですが、営業利益については原材料の高騰や人件費、諸費用の増加等により下方修正しております。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては円安による為替差益が見込まれるため、当初予想を修正しておりません。

詳細につきましては、本日（令和5年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,368,436	1,651,586
受取手形	33,226	29,743
売掛金	1,051,258	974,380
電子記録債権	680,008	768,442
商品及び製品	412,085	549,557
仕掛品	74,727	88,039
原材料及び貯蔵品	2,156,828	2,072,400
未収入金	98,589	38,738
その他	28,435	46,552
貸倒引当金	△43,229	△38,706
流動資産合計	5,860,367	6,180,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,768,009	1,815,914
機械装置及び運搬具	1,393,123	1,490,807
工具、器具及び備品	878,197	905,140
土地	300,006	300,006
リース資産	73,395	50,176
建設仮勘定	—	86,532
減価償却累計額	△3,177,390	△3,290,286
有形固定資産合計	1,235,342	1,358,292
無形固定資産	9,887	9,302
投資その他の資産		
投資有価証券	226,950	300,062
繰延税金資産	120,762	111,352
その他	135,532	157,853
投資その他の資産合計	483,245	569,268
固定資産合計	1,728,475	1,936,863
繰延資産	1,486	1,078
資産合計	7,590,329	8,118,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	892,096	626,491
電子記録債務	731,073	548,126
短期借入金	1,964,041	2,358,507
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	3,043	2,654
未払法人税等	51,434	46,508
受注損失引当金	13,276	8,029
賞与引当金	—	50,196
その他	254,105	203,270
流動負債合計	3,929,071	3,863,784
固定負債		
社債	130,000	110,000
長期借入金	1,118,018	1,586,394
リース債務	3,540	6,085
退職給付に係る負債	380,240	363,919
その他	8,348	1
固定負債合計	1,640,147	2,066,401
負債合計	5,569,218	5,930,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	724,400	724,400
資本剰余金	207,448	207,448
利益剰余金	521,299	552,860
自己株式	△3,819	△4,016
株主資本合計	1,449,328	1,480,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,516	57,227
為替換算調整勘定	176,840	241,481
その他の包括利益累計額合計	196,356	298,709
非支配株主持分	375,425	409,088
純資産合計	2,021,111	2,188,490
負債純資産合計	7,590,329	8,118,675

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	5,179,126	5,331,109
売上原価	3,966,344	4,167,638
売上総利益	1,212,781	1,163,470
販売費及び一般管理費	1,001,608	1,067,393
営業利益	211,173	96,076
営業外収益		
受取利息	940	1,159
受取配当金	4,028	4,534
不動産賃貸料	28,485	30,332
為替差益	—	44,262
その他	13,897	8,363
営業外収益合計	47,351	88,651
営業外費用		
支払利息及び手形売却損	19,569	22,944
賃貸資産減価償却費等	11,549	12,577
為替差損	6,182	—
その他	1,967	1,055
営業外費用合計	39,269	36,577
経常利益	219,255	148,150
特別利益		
固定資産売却益	1	163
投資有価証券売却益	—	109
特別利益合計	1	273
特別損失		
固定資産除却損	84	3,459
投資有価証券評価損	22,840	1,808
投資有価証券売却損	—	250
新型コロナウイルス感染症による損失	44,906	—
特別損失合計	67,830	5,518
税金等調整前四半期純利益	151,426	142,905
法人税、住民税及び事業税	57,225	71,899
法人税等調整額	10,572	△10,837
法人税等合計	67,798	61,062
四半期純利益	83,628	81,843
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	37,785	△5,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,843	87,241

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	83,628	81,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,362	59,112
為替換算調整勘定	101,917	82,299
その他の包括利益合計	106,279	141,412
四半期包括利益	189,908	223,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,152	189,593
非支配株主に係る四半期包括利益	60,756	33,662



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループ(当社及び連結子会社)は、電子部品の製造・販売及び付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。